

昭和59年(1984年)2月7日～8日
強い冬型の気圧配置による大雪
(兵庫県などで大雪)

～ 「自らの命は自らが守る」 社会を支える取組 ～

大阪管区气象台



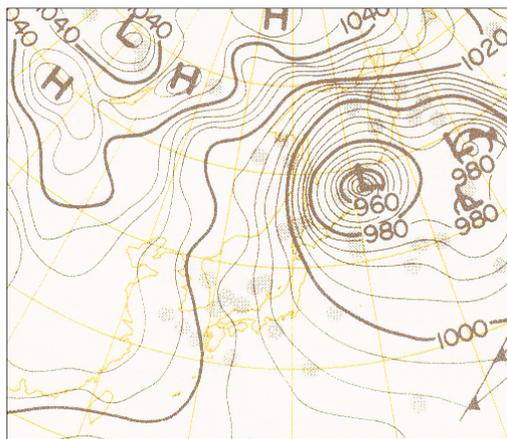
大雪による住家の倒壊や除雪作業中の事故、交通障害などが多数発生
(除雪作業時の人的被害や雪の重みによる住家被害多数、道路の通行止め、鉄道の運休、農業施設や農作物への被害も発生)

【概要】

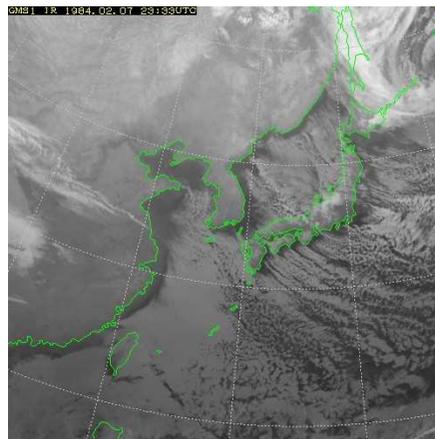
昭和59年2月5日に日本の南海上を低気圧が通過した後、上層に強い寒気が流れ込んで冬型の気圧配置が強まった。この強い冬型の気圧配置が9日まで続いたため、近畿地方では兵庫県北部などで大雪となった。特に兵庫県の村岡(現在の兔和野高原)では2月8日の23時頃に積雪が223cmとなり、現在でも兵庫県内で最も高い積雪の高さになった。

この大雪により、近畿地方では兵庫県を中心に除雪作業時の事故による人的被害、雪の重みによる住家の倒壊や半壊の被害が多数発生し、道路の通行止めや鉄道の運休、農業施設や農作物への被害なども多数発生した。

村岡の統計期間昭和56年11月~。兔和野高原への移設は平成17年12月14日被害は当時の新聞記事等から収集したものです。



地上天気図
(昭和59年2月8日09時)



衛星赤外画像
(昭和59年2月8日09時)

雪がもたらす災害

積雪害	鉄道や道路に雪が積もり交通障害をもたらす。また交通障害に伴い、生活・企業活動への影響を及ぼす。農作物への被害など。
風雪害	吹雪によって視界が悪くなり、交通障害や事故をもたらす。
雪圧害	積もった雪の重みで家屋・施設が倒壊したり、果樹などの枝が折れて損傷する被害。
雪崩害	斜面の雪の一部が崩壊してもたらされる災害。
着雪害	湿った雪が送電線や通信線に付着して、その重みで断線したり、鉄塔や電柱などが倒壊する被害。また樹木等にも湿った雪が付着して、その重みで枝が折れて損傷する被害。